

Rotary
District 2680



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014-2015



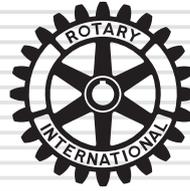
GOVERNOR Koji Takizawa

MAR. 2015
vol.9

3

Rotary

District 2680



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。



ガバナーズレター.....	1
Rotary Breeze.....	2
ロータリーデー ガバナー賞.....	3
対談シリーズ「ガバナーと話そう」.....	4
IM報告.....	6
全国青少年交換シンポジウム.....	8
コーディネーターニュース／ガバナー事務所からのお知らせ.....	10
兵庫県立神崎高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式.....	11
第17回「学習障害【LD】理解のための基礎と実践講座」／クラブ奉仕セミナー(姫路会場) ...	12
地区委員会報告.....	13
ご入会おめでとうございます／地区活動予定.....	16
ご協力に感謝します／文庫通信／訃報.....	17
出席報告	

❖今月の表紙

「阪急電車：今津線のさくら」

撮影者：宮腰 久司 (西宮恵美寿)

桜の季節になって、ぶらりと出かけた。今津線に乗り、仁川駅で降りて、近くにある熊野神社の境内に入り、桜の花の向こうに電車の来るのを待っていた。ちょうど両方の電車が見えた時に、シャッターを切った。



ロータリークラブの会長と幹事の皆様

国際ロータリー第2680地区

ガバナー 滝澤 功治 (神戸須磨)

日差しにどこか昨日まででない明るさを感じ、こういうのを春めいたというのかと思う日もあれば、一転して寒風に襟をかき合わせる日もあるという不安定な気候が続いています。いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

3月は識字率向上月間、そして3月13日を含む週は世界ローターアクト週間です。

ロータリーデーを祝う

皆様のクラブではロータリーデーを実施されましたか。

「ロータリーデー」！ なんとシンプルで直線的な呼び名でしょうか。今年度のテーマの“LIGHT UP ROTARY”といい、この「ロータリーデー」といい、国際ロータリーのGary C. K. Huang 会長はネーミングの才能がありそうです。それはともかく、会長は、「地域社会の人びとに、楽しみながら情報を学んでもらうイベントを催し、ロータリーを紹介する」ことを目的に、「ロータリーデー」の開催を呼びかけられました。

ロータリーは、1905年の創立以来110年もの長い歴史と全世界で120万人以上の会員を擁する世界有数の団体です。しかも、ただ沢山の人が寄り集まっているというのではなく、毎週例会を開き、会員が切磋琢磨し、お互いを高め合うという崇高な目的を持つ団体です。そしてまた、地域社会のために奉仕活動をする団体でもあります。

ロータリーはそのように世界中で「よいこと」をする団体ですから、是非ともその活動内容を適切に広報し、一般市民の方に知ってもらいましょう、そうすればその理念に共感し、自分もロータリーと一緒に活動したいという人が出てくるかもしれません、一緒に活動する仲間が増えれば、ロータリーの活動が益々幅広く、力強いものになるでしょう。私は公式訪問でこのようにお話ししました。

さて、いくつかのクラブでは早速ロータリーデーの開催に挑戦されました。素晴らしい企画をされたクラブは地区大会で表彰することにしています。締め切りの1月31日までに、10のクラブから応募がありました。どのクラブの企画も周到に準備されたもので、甲乙付けがたく、散々迷ったのですが、篠山ロータリークラブと北条ロータリークラブにガバナー賞を贈ることにしました。両クラブとも、地域で沢山の人が集まるイ

ベントに、ロータリーのブースを出し、ポリオ撲滅のパンフレットを配り、寄付を呼びかけられました。特に素晴らしいのは、提唱しているインターアクトクラブや地元高校のボランティア部の高校生を巻き込んで活動されたところで、ロータリーが若い世代の育成に力を注いでいることを一般の人々にアピールできたのはうれしいことです。

さる2月4日、東京で「ジャパン ロータリーデー II in東京」が開催され、Gary C. K. Huang 会長がCorrina 夫人と共に出席されました。総勢700人を超える参加者を得て実に華やかな会合でしたが、会長は、直前までオーストラリアのメルボルンで開催された「ロータリーデー」に出席されていたそうで、その足で東京に飛び、終わり次第またすぐに別の国の「ロータリーデー」に出席すると言われていました。このように今、全世界で「ロータリーデー」が開催されています。Gary C. K. Huang 会長のこの新しい試みは、きっとロータリーの活動の定番行事となるものと予測しています。

識字率について考える

識字率と聞いて何を連想しますか。私が頭に真っ先に思い浮かべたのは昨年ノーベル平和賞を受賞したパキスタンの17歳の少女、マララ・ユスフザイ (Malala Yousafzai) さんでした。パキスタンの識字率は58%だそうです(外務省のホームページから)。その中でも女性が男性に比べてはるかに識字率が低いことは容易に想像できます。マララさんは教育者の家庭に育ったということですが、教育が人間形成にいかに大切か、そして個々の人間のみならず、平和で民主的な国をつくるために教育が果たす役割が大きいことを彼女は身をもって示しました。あの2012年10月のテロ事件で銃撃を受けながらも奇跡的に命を取り留め、その後もその主張がいささかも揺るがなかったことは、彼女の崇高な精神と高邁な人格を表しています。

One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First. (1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。教育を第一に。) マララさんの国連でのスピーチの一節です。識字率向上月間にもう一度思い起こしてください。

世界ローターアクト週間に向けて

3月13日は、1968年、世界で最初のローターアクトクラブ（以下RAC）ノースシャーロットRACが設立された日であり、この日を含む1週間は世界ローターアクト週間です。

私は2013年5月に広島で開催された平和フォーラムに参加したとき、多くの若い人が生き生きとして語り合い、行動しているのを見て驚きました。私のRACに対する認識が180度転換された瞬間でした。その後参加した国際大会でも、ローターアクトたちが様々な場面で活躍する姿は実に印象的でした。

ローターアクトの目的は、「青年男女が個々の能力開発のために役立つ知識やスキルを身に付け、各地域社会の物質的、社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだにより良い信頼関係を築く機会を提供することにある」とされています。（標準RAC定款第2条）

自らの能力開発に取り組み、地域社会のリーダーと

なるべき人材を育てるのがRACです。それを指導支援するのは、私たちロータリーの責務です。

当地区には、RACは7クラブしかありません。RACを提唱していないクラブに、少しでも実際にRACと触れあう機会を提供したい、それが私の願いです。そのためにこの「世界ローターアクト週間」にRACの側からも、ロータリーの側からも、双方から働きかけがあることを期待しています。

地区大会が2月28日、3月1日に開催されました。各クラブの皆様には本当にお世話になりました。あらためてお礼を申し上げます。

これから先もまだまだセミナー等の行事が続きます。引き続き地区運営にご協力をお願いいたします。

まだまだ寒い日が続くようです。くれぐれもご自愛ください。

クラブの皆様にもどうぞよろしくお伝えください。

Rotary Breeze

第8回 投げられて出た賽の目は

地区研修リーダー 久野 薫（神戸東）

国際奉仕という概念が生まれたのは1917年アメリカが第一次世界大戦に参戦した1917年であります。シカゴRCにWar Committeeが設置され、当時のRI会長（当時はまだ国際ロータリークラブ連合会）アーチ・クラフが後の財団の前身となる「国際理解と親善増進のための基金」制度を設けたのです。時代は移って、今日の世界情勢はロータリー草創期とは全く違います。グローバル化が進み世界は一つ、どこかの貧困、争いは世界全体の繁栄、平和を阻害する時代になったのです。世界社会奉仕活動（WCS）は国際奉仕というよりも海外における社会奉仕だという世界社会奉仕の概念は、1962～63年度RI会長インド出身のニッティシ C・ラハリーの時に生まれました。しかし、その性格が明瞭に定義づけられたのは1968～69年度RI理事会決議であります。「世界社会奉仕は或る国のロータリークラブ又は地区が、他国のロータリークラブに援助を提供して、そのロータリークラブが立案した自国の生活水準の向上に役立つ計画の遂行に協力し、かくして双方の地域社会間に国際理解を増進する事を目的としたプログラムである」。かくして投げられて出た賽の目は国際奉仕の主役はもはや個人ではなく、クラブ、地区という団体であるということなのです。援助を与える側もクラブ単独ではなく、他のクラブとも共同して進めることが出来る絶好の奉仕活動となったのです。2013年から始まった財団の夢計画では、なおさら他クラブとの共同作業が求められています。しかし一方で、ロータリーの手に見える仕事なのかという疑問が聞こえてくるのです。



◆ 篠山ロータリークラブ

丹波篠山を代表する秋の味覚をふるまう「丹波篠山味まつり」の開催に合わせ、11月1日、兵庫県立篠山産業高等学校インターアクトクラブの協力を得て、「ポリオ撲滅」の募金活動を行った。また東日本大震災の被災者支援のために「南三陸わかめ」と「丹波さやま新米こしひかり」の販売を行った。



◆ 北条ロータリークラブ

8月3日に開催された「加西市サイサイまつり」の朝市会場で、兵庫県立北条高等学校ふるさと創造部の生徒たちの協力を得て、「ポリオ撲滅キャンペーン」ブースを出展した。子供たちに世界のクイズを出題しながら、募金された方にポリオ撲滅のパンフレットとバッジを配付した。また、11月1日に開催された「じば産物産展（商工会議所主催）」でも同様の「ポリオ撲滅キャンペーン」ブースを出展した。



ロータリーデー
ゲイリー C.K. ホアン
2014-15年度RI会長



「ロータリーに輝きを」をテーマとする今年度、「ロータリーデー」に参加して、ぜひロータリーを輝かせてください。ロータリーデーとは、地域社会の人びとに、楽しみながら情報を学んでもらうイベントを催し、ロータリーを紹介するという、とてもシンプルなものです。クラブ入会への関心をもってもらい、ロータリーについてより良く理解してもらえ、またとない機会となるでしょう。地元企業や団体との関係も築くことができます。34,000のクラブがそれぞれの地域社会で、ロータリーでの楽しく、貴重な経験を人びとと分かち合えば、世界全体で大きなインパクトがあるはずです。

蓋共克

ゲイリー C.K. ホアン
2014-15年度国際ロータリー会長

補助金
小委員会

室津義定 小委員長 VS ガバナー 滝澤功治

滝澤：3月は識字率向上月間です。私は正直に言って今日まで識字率という問題を正面から考えたことがありませんでした。

室津：一般的には、識字率とは母語による日常生活の読み、書き、および単純な算術ができる15歳以上の人々の同世代の全人口に対する割合をいいます。日本の識字率は99%を超えています。ユネスコの資料によると、15歳以上で、読み、書き、単純な算術ができない人は世界中に7.8億人いますが、その7割がアジア、太平洋地域だそうです。またその3分の2は女性です。ユネスコや各国の政府機関、それから国際ロータリー等のNGOが協力して、識字率の向上に努めています。しかし、開発途上国の人口増加、資金不足、戦争や内戦、民族間抗争、宗教上の慣習による性差別等のために、識字率の向上はなかなか難しいのが現状だと思います。

滝澤：なるほど。識字率の向上は単なる文化レベルの向上というようなことにとどまらず、国民一人一人が読み書きの能力を備えることによって、情報が正確に伝えられ、世界平和の実現や民主主義の拡大に役立つと思います。おそらくロータリーが永年識字率向上に取り組んできたのはそういう考え方が根底にあると思います。

室津：ロータリーは、財団の補助金プロジェクトを通して、識字率向上に取り組んできました。そのうち最も有名な活動は、CLE（集中語学教育法、Concentrated Language Encounter）と呼ばれる語学教育法を用いた識字率向上プロジェクトです。ロータリー財団の3-H補助金プロジェクトを利用して、1987年から5年間にわたって、タイのすべての公立小学校でCLEによる語学教育プログラムが実施されました。その後、ラオス、ネパール、バングラデッシュに拡大し、さらに、ブラジル、南アフリカ、トルコ、エジプトでもCLEによる識字率向上プロジェクトが実施されました。

滝澤：CLEといえば、当地区でも3-H補助金を活用して実施されましたね。

室津：2007年から2014年までフィリピンで小学校におけるCLEによる英語教育プロジェクトを実施しました。

滝澤：日本国内でも、識字率向上のための活動が行われていますか。

室津：さまざまな理由で小・中学校に通うことができなかった人たちが、大人になって学べる公立の夜間中学校があります。兵庫県内にも神戸に2校と尼崎に1校があります。そこでは、中国残留邦人やそ

の家族、中国やフィリピンなどから新たに日本に定住する生徒が在学しています。また、広い意味では、読書教育や読書を支援する図書館等の活動も識字率向上の問題に関わるといえるのではないのでしょうか。

滝澤：各クラブの例会において識字率の問題を取り上げるとしたら、どのような取り組みが考えられますか。

室津：開発途上国における識字率の現状や識字教育プロジェクトの紹介、および国内で活字離れの進む中において、すべての学びの基礎であり、豊かな人間性を培う読書教育や読書の機会を提供する図書館活動等も取り上げる対象となるのではないのでしょうか。

滝澤：ロータリー財団は「未来の夢計画」で6つの重点分野を定めていますが、その中に「基本的教育と識字率向上」があります。グローバル補助金プロジェクトの具体例として、どのようなものがありますか。

室津：全世界の子供が初等教育を受けられるようにするためには、170万人の教師が必要とされています。したがって、①教師養成研修や授業教材を提供する、②農村部でカリキュラム作成のための研修を提供する職業研修チームを派遣する、③授業や課外活動のボランティアをするなどのプロジェクトが考えられます。さらには識字率の計算対象となる16歳以上の人についても、①学校給食や、学校での安全な飲み水・衛生設備の利用を促進することで、病気による欠席を予防し、入学・通学しやすい環境を整える、②CLEプログラムを支援する、③成人向け識字プログラムを開発する、④地元の生徒たちの生活指導ボランティアをするなどのプロジェクトが考えられます。

滝澤：ありがとうございました。





ローターアクト 小委員会

中本 広太郎 小委員長 VS ガバナー 滝澤 功治

滝澤：中本さんには今年度、初めてローターアクトの小委員長をお願いしました。そもそも中本さんとローターアクトとのつながりは、いつどのようにできたのですか。

中本：私は2006年に神戸RCに入会したのですが、2007-2008年度から神戸RCのローターアクト委員に呼んでいただいたのが始まりです。その後ずっと委員を務め、副委員長を2年、委員長を2年経験しました。昨年やっと卒業したと思っていましたら、今度は地区です。

滝澤：当地区ではインターアクトに比べてローターアクトは低調だと言われます。それが事実であるとする、どうしてなのでしょう。

中本：ローターアクト自身のローターアクトに対する認識とアピールの不足だと思います。

滝澤：どういうことですか。

中本：インターアクトとローターアクトの最大の違いは、ローターアクトは「専門知識開発」「指導能力開発」「奉仕プロジェクト開発」という3つの目標のもとで、自分自身で考えて行動するという、すべて自主的に活動のできる本当に自由な集まりだということです。さらにはロータリーファミリーとしての繋がりは世界中に広がっています。このようなローターアクトの活動がいかに魅力的かをローターアクト自身が認識して、もっと自主的で活発な活動を行い、それをもっとロータリーファミリーや地域の方々にアピールしていけば、自然に盛況になっていくと思います。その辺りが今のところ足りないのではないのでしょうか。

滝澤：昨年、ほぼ10年ぶりに柏原ローターアクトクラブが設立されました。うれしかったですねえ。

中本：そうですね。設立に向けて多大な努力をしていただいた柏原ロータリークラブの方々と、それに応えてクラブ設立を成し遂げられた柏原ローターアクトクラブの方々に大きな感謝と心からの敬意を表したいと思います。

滝澤：3月13日は「世界ローターアクトの日」であり、この日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」とされています。実は私はガバナーになるまで、このことを知りませんでした。

中本：ロータリー手帳の3月の第2週のところにはちゃんと明記されていますよ。

滝澤：すみません。

中本：現在、当地区には7つのRACが活動しています。この内、淡路RACは淡路全体での提唱ですが、その他はそれぞれに一つの提唱クラブがあるわけで、当地区でローターアクトに関わっているRCは10クラブしかありません。これが世界ローターアクト週間

が認知されていない最大の理由ではないでしょうか。

滝澤：ローターアクトがもっと認知されるためには、地区の委員会は何をしたらよいと思いますか。

中本：今年度、ローターアクト小委員会は各提唱クラブの委員長にも参加してもらい合同で会議を開催しました。そこで、会員増強やクラブ運営費の問題などかなり踏み込んだ意見交換がなされ、大変意義と実りのある会議になりました。今後もこの形で委員会を進めていけたらと思っています。各提唱クラブ同士が意見交換をできる環境を整える。地区のローターアクトクラブがロータリアンやロータリーファミリーと交流でき、情報を発信できる環境を整える。この辺の環境整備こそが地区のローターアクト委員会の役割ではないかと思っています。

滝澤：国際的な会合に行くと、世界中から若いローターアクトたちがたくさん参加して活躍しています。昨年のシドニー国際大会の本会議でも、女性のローターアクトの印象的なスピーチがありました。日本のローターアクトもがんばってもらいたいですね。委員長として、あるいはロータリアンとして、ローターアクトにエールを送ってください。

中本：もっともっとローターアクトクラブを楽しんでいただきたい。もっともっとローターアクトを満喫していただきたい。そしてその楽しさをもっともっと多くの人たちに伝えていっていただきたい。そのためにも一生懸命ローターアクトクラブを楽しんでいただきたい。一生懸命ローターアクトを満喫していただきたい。そしてその楽しさを一生懸命多くの人たちに伝えていっていただきたい。その為になら、地区のローターアクト小委員会は一生懸命お手伝いをさせていただきます。

滝澤：よろしくお願いします。



◆ 西播第1グループIM

1月24日(土)◆姫路商工会議所

西播第1グループガバナー補佐 白井 務子(姫路東)

テーマを「障害者理解」とし、今年度のゲイリーC.K.ホァンRI会長が提唱され、滝澤功治ガバナーも強く要請されておられる“ロータリーデー”活動の一環としてI.M.を実施しました。

第1部の記念講演は一般市民約200名を招き、全盲の盲学校講師であり、東京パラリンピック金メダリストの竹内昌彦先生に「私の歩んだ道 見えないから見えたもの」と題して講演していただきました。ご自身の実体験に基づいた誠に感動的な、聞く者の魂が揺さぶられるような話で、先生が強調する心がけや、助け合いの精神は、我々が信奉するロータリーの奉仕の精神にも相通ずるものがありました。

第2部は式典。第3部は実力派デュオ「輝&輝」による津軽三味線のコンサートを楽しみながらの懇親会でおおいに盛り上がりしました。

滝澤ガバナー、室津ガバナーノミニー始め、多くのガバナー補佐にも出席いただき、我々ロータリークラブの活動やロータリー精神の一端を、ロータリアン以外の方々にも広く理解してもらう良いきっかけになった有意義なI.M.になりました。



◆ 尼崎グループIM

1月31日(土)◆都ホテルニューアルカイク

尼崎グループガバナー補佐 高岡 久(尼崎)

今年度尼崎グループIMは、尼崎市長の出席を得て、「とり戻そう日本のこころ・伝えよう伝統文化」をテーマに、尼崎の伝統文化である能と落語を取り入れ、能では重要無形文化財の能楽師十数名による大物浦伝説「船弁慶」の迫力ある演技を鑑賞し、次に、国内外で活躍のダイアン吉日氏(英国女性)の英語落語をお楽しみ頂きました。そして、ロビーでは地元女子大学茶道部によるお茶席を設け、全体を通して和の心を味わって頂く企画を致しました。この第1部はロータリーデーと位置付けて、家族および一般の方々の参加もあり、今日の近代化に流れる社会にあって、伝統文化に秘められた心の領域、温かい和の心を訴求し、好評でした。

尚、ロビーには本年度グループ合同で実施した二つの奉仕事業をパネル展示して活動をPRしました。第2部では、滝澤ガバナーご出席のもと、100年会員表彰など恒例のセレモニーで締め、第3部懇親会で、次年度ガバナー補佐を囲み懇談、友情を深めました。関係各位のご支援を得て盛会に終える事が出来ました。





◆ 神戸第2グループIM

1月31日(土)◆神戸西神オリエンタルホテル

神戸第2グループガバナー補佐 吉川 孝郎(神戸西神)

1月31日(土)、神戸第2グループのIMを神戸西神オリエンタルホテルにて開催しました。滝澤ガバナーを始め10名のご来賓、そして会員231名の登録を頂き、盛大に開会することができました。

IMは年に1回グループごとに近隣クラブの皆様と会合を開き、社会の色々な出来事や内容について話し合い、懇親会を開いて親交を深める良い機会であると思います。

本日の基調講演は関西学院大学国際学部教授 鷺尾友春氏に、「国際関係はどうなっているのか、一度総括してみましょう」という内容の講演をお願いしました。

現在、日本及び世界で色々な問題が発生していますので、今回のIMの題は「絆」としました。我クラブと姉妹提携している台湾板橋北区RCの会員から手紙を頂きました。その中で「絆」ということが書かれていました。その文章が私の心の中にとまり「絆」を大切にしていきたいと、神戸第2グループ会員の皆様とより強い「絆」で結ばれればと心より願っております。

懇親会も、皆様のご協力で楽しい一時を過ごすことが出来ました。IMの実施にあたって、クラブ会員のご協力に感謝申し上げます。



◆ 東播第2グループIM

2月14日(土)◆鹿島殿

東播第2グループガバナー補佐 山本 広志(高砂)

東播第2グループIMを去る2月14日(土)に5クラブ会員の皆様をはじめ総勢160名余の御出席を得て、高砂の鹿島殿にて開催しました。「日本を愛でる・ロータリーを愛でる」と題し、特に滝澤ガバナーが提唱された“Try Something New”のテーマに則り、会員家族の皆様にも御出席していただきました。

講演では東京から招聘した古武道の第一人者である甲野先生と統合医療医師の小池先生の対談、また、舞台上での実演、アラスカ・シーフード・マーケティング協会様からの食材の協賛、小児科医山田先生のマジックショーと会員相互の親睦を深める良き機会となりました。滝澤ガバナー、丸尾ガバナーエレクトをはじめ来賓の皆様、そして多くのガバナー補佐の皆様にご出席いただき、盛会裡に終えたことに感謝申し上げます。



全国青少年交換シンポジウム実行委員会副委員長 **黒田 建一** (西宮夙川)



滝澤功治ガバナーの開会点鐘

本年度の当地区青少年奉仕委員会の主催事業の中で、全国インターアクト研究会と並ぶ全国規模の集会として全国青少年交換シンポジウム（以下、「シンポジウム」）が、山崎清司RIJYEC理事長、地区ガバナー11名外、ロータリアン外青少年交換学友、元ホストファミリーなど計135名の参加を得て開催されました。

今回のシンポジウムは、青少年交換プログラムを嚆矢とするRIの危機管理体制強化の意味を理解し、より良き青少年交換プログラムの途を模索する為、その前提として我が国における青少年交換プログラムの実態を把握することが必要であるとして、当地区が敢えて提言し、開催することとしたものです。

当日は、午前10時45分、本会議場の神戸国際会議場501号室で、当地区滝澤功治ガバナーの開会点鐘と開会の言葉、三木明（RIローターアクト・インターアクト委員）シンポジウム実行委員長、山崎理事長の挨拶によって口火が切られ、続いて、青少年交換学友の竹馬祐美さん（2740地区から2010～2011年の間インドへ派遣、現在大阪在住）からインドという異文化の国になじみ、「感謝」ということを知る迄の艱難辛苦に充ちた感動的な体験を、45分間に亘って講演して頂きました。同氏の明るい人柄と鋭い感性は、誰もが辛いであろうと思われる事を前向きに捉え直して、一個の人間として大きく成長したことを伝えただけでなく、異文化との接し方を私達に教えてくれました。

全国青少年交換シンポジウム プログラム		日時	2015年1月18日(日)
		10:45 開会～16:00 閉会	
		会場	神戸国際会議場 501
		司会	RI 第2680地区 青少年奉仕副委員長 坂東 隆弘
10:00	受付開始		
	オープニング・映像		
10:45	開会点鐘	RI 第2680地区 ガバナー	滝澤 功治
	君が代 斉唱 並びにローターソング 斉唱 「奉仕の理想」		
	開会の言葉	RI 第2680地区 ガバナー	滝澤 功治
	挨拶	実行委員長・互インターアクト・ローターアクト委員	三木 明
	ご来賓並びに参加者紹介	RI 第2680地区青少年交換委員長	武田 寿子
	来賓挨拶	RIJYEC 理事長	山崎 清司
	基調講演 「私が経験したインドとの青少年交換の実態」	青少年交換学友	竹馬 祐美氏
	アンケート結果報告と問題提起	RI 第2680地区青少年奉仕委員長	黒田 建一
12:00	昼 食 交流会	(食事をつりながらの意見交換会)	
12:45	分科会		
	1.分科会 A: 403号室	派遣生に関する分科会(選考方法、オリエンテーション等について)	
	2.分科会 B: 402号室	学校・ホストファミリーに関する分科会(語外国の事情・ビジネス化について)	
	3.分科会 C: 401号室	青少年交換における危機管理に関する分科会	
14:45	分科会終了 移動 休憩		
14:50	全体会議 分科会の報告 並びに 封読会 (フォーラム形式)		
	コーディネーター	RI 第2680地区新世代奉仕交換委員長	安行 英文
	総 評	実行委員長・互インターアクト・ローターアクト委員	三木 明
	閉会の言葉	RI 第2680地区 ガバナー/ミニー	室津 義定
16:00	閉会点鐘	RI 第2680地区 ガバナー	滝澤 功治





その感動はシンポジウムの終了に際し、再度の拍手がなされたことでもお分かり頂けると思います。

今回のシンポジウムでは事前に各地区青少年交換委員長、危機管理委員長、派遣生、ホストファミリー、学校関係者へアンケートをお願いしておりました。その結果については、80頁近くのアンケート結果報告集（回答地区は18地区、件数合計167件）として、当日の参加者に配布され、青少年交換プログラムに関するまとまった初めての調査資料として長く参照されるであろうことを期待したいと思います。シンポジウム当日は時間の制約もあり、黒田建一副実行委員長より概要説明がなされました。

午後は、青少年交換に関わる、①派遣生、②学校・ホストファミリー、③危機管理の3つのテーマについて討議して頂きました。30名前後の参加者が3つの分科会に分かれて、シンポジウム実行委員会より提示されたテーマを主として、2時間に亘り熱心な意見交換が行われました。各分科会の結果については全体会議で改めて報告がなされ、安行英文新世代奉仕交換小委員長をコーディネーターとして参加者よりアトラダムに意見を頂きました。分科会の意見交換に当たっては、資料として予めアンケート結果を得ており、概ねの方向性の想定が可能であったことが良い結果をもたらしたと思います。

最後に三木実行委員長より総評があり、室津義定当地区ガバナーノミニーの閉会の言葉と滝澤ガバナーの閉会点鐘により、予定通り午後4時にシンポジウムは終了しました。

青少年交換プログラムについて、単独の地区が全国規模の意見交換集会を開催することは恐らく初めてのことであり、全く暗中模索の状態準備を進めて参りましたが、何よりも各地区の青少年交換関係者の熱い思いは活発な意見・情報交換の場を作り上げ、当実行委員会としても成功裡に終わったものと確信しております。



「第3ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー」報告

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐 大之木 精二 (呉)

◎第3ゾーンでは昨年10月に、杉谷RI理事ご出席のもと下記日程により標題通りのセミナーを開催しましたので、その概要を報告致します。

(1) 日時：2014年10月11日(土) 11:00~16:00

(2) 場所：広島市

(3) 対象：ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・ガバナー補佐・地区関係委員長

(4) テーマ：地区・クラブにおける戦略計画の推進及び会員基盤の充実と公共イメージの向上

(5) 出席：60名(ゾーン関係者共)

◎グループ6卓によるテーマ別討議を行い、最後にグループ毎報告が為されましたので、その意見集約を次の通り記述します。

◎【ロータリー戦略計画】

- ・地区・クラブにおける当該委員会の設置は精々2割程度で、それも十分機能しているとは言えない。
- ・クラブの強化に戦略計画は最良の指針となり、増強も公共イメージ向上も強いクラブがあつてこそ可能との観点より、先ずは地区戦略計画(委)の指導力を高めクラブの戦略計画推進に尽力する。
- ・地区・クラブ共、中長期構想の確立が必然であり、その為にも現行の単年度制に拘泥しない自主的な継続的発想が望まれ、年度毎の執行部との調整の巧拙が問われる。
- ・関連的にCLPの実施状況が話題となり、組織の簡略化や運営の効率化を重視することに傾斜して、本来の主旨が十分に生かされていないとの危惧がある。地区はこの点についての適切な指導を行うべきである。

【増強・会員維持・公共イメージの向上】

- ・昨今人数に執着する余り、増強の真意(クラブ強化)の視点が欠けている傾向がある。
- ・全国一律の数値目標を示したり常套的手法を奨励するのは如何なものか。
- ・クラブの敷居を低くして先ず入会を認め、クラブに馴染ませる環境作りとロータリー教育の着実な実施が肝要である。
- ・ロータリーに入会して良かったとのロータリーモメントに多く接する機会を、既存会員共々に提供することが会員維持に有効である。
- ・既存会員が更なるロータリー学習と実践を深めて高質のロータリアンになって初めて、増強への情熱が湧き腰を据えた活動に繋がる。
- ・人口減少の社会構造変化に対応してクラブ単位の増強に拘わらず、クラブ合併による基盤強化も積極的に検討すべきである。
- ・Eクラブ・衛星クラブの設立を強力に推進する。
- ・増強も公共イメージの向上も、クラブの強化がその必須条件である。

ガバナー事務所からのお知らせ

◆あわじ中央ロータリークラブのE-mailアドレスについて

2月6日より下記のように変更となりました。

awajichuo-rc@zeus.eonet.ne.jp



◆ 兵庫県立神崎高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式

1月10日(土)◆兵庫県立神崎高等学校

インターアクト小委員長 三木 健義(姫路)

年初の1月10日、西播地域に新しく25校目のインターアクトクラブ（以下IAC）として、兵庫県立神崎高等学校IACの認証状伝達式が執り行われました。

提唱クラブは、神崎RC（壺阪政和会長）で、このIACは創立40周年記念事業の一つとして、2014年9月25日付で創立されました。

開会式冒頭の挨拶の中で、秋山紀史神崎RC創立40周年実行委員長は、過去この地域にIACがあり、1987年第5回年次大会をグリーンエコー笠形で開催し、記念植樹を行ったことを感慨深く話され、この認証伝達式に向けての思いを披露されました。

認証伝達式には、滝澤功治ガバナー、丸尾研一ガバナーエレクト、白井務子西播第1グループガバナー補佐、黒田建一青少年奉仕委員長をはじめとするロータリー関係来賓、神崎RCより壺阪政和会長をはじめとするメンバー、5校の来賓IACの顧問教諭及びIACメンバー、神崎高等学校 北峯照之校長先生をはじめとする7名の学校関係者と、神崎高等学校IACメンバーの総勢83名となる盛大な式典となりました。

横田信弘神崎高等学校IAC会長は、今までに培ってきた地域社会への奉仕活動を深めると共に、新たに国際理解にも努めて行きたいと決意を述べました。



青少年による社会奉仕活動団体「インターアクトクラブ」がこのほど神崎高校（神戸町福本）で発足し、同校で認証状伝達式があった。国際ロータリーからの認証状を受け取った部員たちは、地域社会への貢献を誓った。

インターアクトクラブは1962年に米国内で誕生。世界約120カ国で活動している。

2002年から同校と青少年奉仕活動で交流を続ける神崎ロータリークラブ（壺阪政和会長）の呼び掛けに

認証状を受け取る神崎高校のインターアクトクラブ会長の横田信弘さん（右）＝神崎高校（神崎ロータリークラブ提供）

県内では25校目で、神崎郡内では初めてという。

神崎高 インターアクトクラブに認証状 地域社会への貢献誓う



応じ、昨年9月に同校でクラブが発足した。生徒会を中心に1、3年の23人が所属する。

設立に携わった同ロータリークラブの秋山紀史さん（左）は「クラブの活動を通して、地域社会に貢献する若者が増えてほしい」と話していた。

（宮崎真彦）

2015年1月20日（火）神戸新聞朝刊

◆ 第17回「学習障害【LD】理解のための基礎と実践講座」 1月24日(土)◆神戸芸術センター

教育問題小委員会 委員 山口 宰(神戸西)

1月24日(土)、神戸芸術センター(神戸市中央区)にて、第17回「学習障害【LD】理解のための基礎と実践講座」を、地区主催、神戸西RC主管で開催いたしました。今回は、「思春期・青年期発達障害の課題と支援」をメインテーマに、発達障害を持つ方々が、社会の中で学び、働くために何が必要かということを考える貴重な機会となりました。

第1部の大阪教育大学名誉教授の竹田契一先生(宝塚武庫川RC)による講演「幼児期・学童期発達障害への学習支援」に引き続き、第2部では、文部科学省中央教育審議会委員等として多方面でご活躍をされている教育ジャーナリストの品川裕香先生に、「思春期・青年期発達障害の特性理解」と題して、教育現場の現状や取り組みについてお話をいただきました。

兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会の後援のもと、教育関係者・福祉関係者・ロータリアンなど、500名を超える方々にお越しいただき、地域のリアルタイムなニーズに応える大変有意義なプログラムとなりました。



◆ クラブ奉仕セミナー(姫路会場) 1月25日(日)◆ハーベスト医療福祉専門学校

クラブ奉仕副委員長 城 守(姫路)

今年度のクラブ奉仕セミナーは、諮問事項の一つである“ロータリーにおける真の親睦の意味を問い直し、各クラブに提示する”のために、地区内東西2か所において開催しています。

第一弾として1月25日(日)姫路会場にて開催しましたところ、各クラブより35名、地区より10名の参加がありました。

セミナーは滝澤ガバナーのご挨拶に続き、中村尚義アドバイザーから『「真の親睦」を通してロータリーを知る』をテーマに基調講演をいただきました。その後、6つのグループに分かれて2つの課題についてディスカッション形式で大いに語ってもらい、その内容を全体会議で発表していただきました。

セミナーの締めとして中村尚義アドバイザーから「真の親睦」について珠玉の資料をもとにまとめていただきました。

セミナーアンケートからは、多くの方が「親睦」への理解に変化があったと記入されており、今後のクラブ運営に活かされるよう願っています。



グループに分かれてのディスカッション



● 第6回新世代奉仕交換小委員会

1月7日(水)◆神戸ポートピアホテル724号室

新世代奉仕交換小委員長 安行 英文(三田)

- ①応募状況 下村亜梨子さん、小笠原彩文さんの2名の応募の受理を確認。
下村さんの応募にスポンサークラブが記名されていないので、2月15日選考までにご自身で連絡し説明されて、取り付けていただきたい旨を伝える。その場合、居住地のクラブや以前の関係のクラブに問い合わせさせていただきたいことを伝える。
- ②選考会
2月15日(日)午前10時からとする。
- ③その他
選考会に向けて、保護者への出席の案内を送付する。
事前に提出する「新世代奉仕交換への志望理由と自己紹介」などの去年の資料にもとづいて提出してもらうために本人に送付する。
- ④委員のみなさまに
選考会での質問事項を考えていただくことを依頼。(英語での質問含む)
- ⑤当小委員会としては、受け入れは滝澤年度、送り出しは丸尾年度であるが、次年度の送り出しは本委員会が継続して行う事を確認。
- ⑥次年度は青少年奉仕交換小委員会でも存続

● 第1回増強・拡大小委員会

1月13日(火)◆神戸ポートピアホテル724号室

増強・拡大小委員長 太田 勝之(洲本)

1. 挨拶 滝澤功治ガバナー
 2. 挨拶 名越亮増強・拡大委員長
 3. 各委員会報告 太田勝之増強・拡大小委員長 梅原可奈子多様化小委員長
 4. 今後の方向性の検討
 - (1) 現在、日本全体でのロータリー会員数は、増加傾向にあるが、当2680地区においては、微増。年度末には、会員数が減少することが予想されるため、なんとかそれを阻止する必要がある。今後、当委員会において、そのための動きをして欲しい。(滝澤ガバナー)
 - (2) 会員数減少傾向にあるクラブに委員長をはじめ、委員が手分けをして訪問し「増強・拡大」をPRする。(名越委員長)
- 一回地区運営会議(1月17日)において、名越委員長から各グループのガバナー補佐に趣旨を説明。
- PR内容
- ・会員減少についての危機意識
 - ・増強につながる事例を紹介
- 訪問先クラブについては、各委員が、ガバナー補佐と相談して決める。
訪問日は各クラブの例会日とし、4月末までに終わるようにスケジュール調整する。



● 第6回クラブ奉仕委員会

1月14日(水)◆神戸東急イン「メイプル」

クラブ奉仕副委員長 城 守(姫路)

丸尾ガバナーエレクトのご挨拶の後、さっそく議題に入りました。

クラブ奉仕セミナー（姫路会場）の最終打合せ委員会という事で、各会場の参加申し込み状況報告、ディスカッショングループ分け、タイムスケジュール、委員役割分担、ディスカッション要領について話し合いました。

次に、中村アドバイザーより基調講演予定内容の概要について資料をもとに詳しく説明をしていただきました。

途中、滝澤ガバナー到着時にご挨拶をいただきました。

● 第3回地区運営委員会

1月17日(土)◆神戸センタープラザ西館9号室

総務幹事 宇賀 浩生(神戸須磨)

滝澤ガバナーより挨拶と地区運営状況についての報告、久野地区研修リーダーより「いつまでもあると思うなロータリー」という危機感と広報と奉仕活動の重要性を述べられました。その後、各委員会からの年度後半の活動計画の発表がありました。

第2部は、まずガバナー補佐より各グループの運営状況報告、滝澤ガバナーより地区大会の概要説明、次に滝澤ガバナーが司会を務め、会員増強、地区大会の推進、セミナーのあり方について忌憚のない意見交換がなされました。次に、倉島地区会計長より地区予算の執行状況についての報告、門田地区代表幹事よりさらなる地区大会への登録のお願いがあり、最後は、室津ガバナーノミニの挨拶で閉会しました。



● 第3回ポリオプラス小委員会

1月22日(木)◆神戸ポートピアホテル724号室

ポリオプラス小委員長 久保 恭利(尼崎南)

- ・2015年2月14日(土)11時よりうはらホールにおいて、出演者他関係者にて、下見および打ち合わせを行う。
- ・2015年2月19日(木)18時より第4回ポリオプラス小委員会を実施し、コンサート下見報告、チケット集計、地区大会募金活動について協議する。
- ・2015年2月28日(土)青少年の集いにて、チャリティーコンサートのアピールをする。
- ・2015年3月1日(日)地区大会にて9時に集合し、ポリオ募金活動を行う。
- ・2015年3月8日(日)ポリオプラス委員及び関係者は17時にうはらホールに集合し準備作業をする。
- ・ポリオプラス委員で、一般の人にポリオ撲滅およびコンサートのアピールができる場所にパンフレットを置いてもらう。
- ・ポリオプラス委員が各地域のIMにて、ポリオコンサートのパンフレットを置きアピールする。



● 第1回教育問題小委員会

1月24日(土)◆ANAクラウンプラザホテル神戸

教育問題小委員会 委員 山口 宰(神戸西)

次年度の「学習障害【LD】理解のための基礎と実践講座」は、「発達障害理解のための基礎と実践講座」として、神戸芸術センターにおいて2016年1月23日(土)に開催することに決定しました。また、高砂青松RC主催(2月24日)、相生RC主催(4月18日)、明石西RC主催(4月25日)、芦屋RC後援(5月10日)、姫路RC主催(5月16日)をはじめとする当地区の発達障害関係の講演会を、地域の力を引き出しながらサポートしていくことが確認されました。

● 第2回公共イメージ委員会

1月28日(水)◆神戸ポートピアホテル724号室

公共イメージ委員長 圓増 亮介(篠山)

地区内クラブで開催された「ロータリーデー」のガバナー賞選考会を行いました。

1月31日締め切りということもあり、28日現在での応募に関しての中間選考という形で複数のクラブをガバナー賞候補として選考しました。

また締め切りに間に合わなかったクラブも継続して応募でき、2月～12月間での応募に関しては、選考後丸尾年度地区大会での表彰になります。

選考基準としては、①ロータリアン以外に「ロータリー」を多くPRできているか ②開催内容のPRに関するメディアの活用ができているか ③従来のイベントではなく新規イベントかどうか等を踏まえ選考しました。

再度締め切り後 最終選考を行い、ガバナー賞を決定します。

***** 「ロータリーデー」のガバナー賞応募一覧 *****

クラブ	名 称	実施期日(2014年)	内 容	備 考
篠 山	ポリオ撲滅募金活動	10月11日	募金活動 南三陸わかめの販売	篠山産業高校IACが協力 募金額：約5万円
神 戸 東	中央区少年親善野球大会(神戸東RC杯)	11月24日	対抗戦、元阪神・オリックスの浜中選手の野球教室	4チーム55人参加
	心の扉を開くハーモニー	11月26日	Aカペラグループ「キューティーハニー」と神戸東RCコース同好会の音楽会	神戸市立青陽養護学校の生徒に贈る歌声のプレゼント
	絵本作家永田萌さんと王子動物園で絵を描こう	11月30日	絵画教室 ポリオ募金	奨学生100名とその父兄が参加
神 戸	ヨットクルージング&ハワイアン	9月27日	ヨットクルージングとハワイアンバンドの音楽鑑賞	神戸RACを含め51名参加
甲 子 園	LD講演会	9月27日	竹田契一先生による講演	甲子園RC創立50周年記念事業(下記2件も同様)
	スポーツ傷害検診事業	11月1日	スポーツ整形外科医によるスポーツ傷害検診事業	西宮野球協会所属の小学生野球選手117名が対象
	阪神タイガース選手との交流会	12月9日	新井、藤井、藤内選手参加 選手インタビュー、六甲おろしの合唱、記念撮影等	西宮市立西宮養護学校生との児童、生徒、保護者、職員との交流
神 戸 南	神戸少年フットサル大会	11月24日	ノエビアスタジアムで対戦	神戸市内から選出された9チームの選手、保護者ら総勢約200人が参加
姫路中央	音楽の夕べ	11月28日	財団冠名奨学生東郷亜由美の独唱と姫路児童合唱団の演奏	約300人が参加(姫路中央RC創立30周年記念事業)
神 戸 北	東日本大震災の被災児童を神戸に招待	7月31日～8月2日	児童らが神戸市内を観光し、クラブ例会にも出席	陸前高田市の小学生15名と保護者5名を招待
宝塚武庫川	ロータリー寄席	8月28日	若手落語家3名の落語と大喜利	有料入場者39名、視覚障害者約30名及び付き添い10名
北 条	LD講演会	7月24日	竹田契一先生による講演	
	END POLIO NOWキャンペーン	8月3日	加西市サイサイまつりでポリオ撲滅のブース出展	北条高校ふるさと創造部の生徒が協力
	同上	11月1日	じば産物産展でポリオ撲滅のブース出展	同上
	3つの青少年育成事業	8月23日&11月23日	少年野球、ジュニアバレーボール、少年サッカー大会	多数の子供達とその保護者が参加
尼 崎 西	高齢者のための演奏会	11月16日	尼崎市吹奏楽団による演奏	地域の高齢者を招待

● 第3回危機管理委員会

1月29日(木)◆神戸センタープラザ西館5号室

危機管理委員長 黒田 建一(西宮夙川)

本年度3回目の危機管理委員会は、滝澤ガバナー外ロータリアン14名、外部委員3名の合計17名の出席を得て開催されました。

今回は危機管理規定の内、委員長指名条項の改正、新世代を青少年への用語変更の確認をしました。続いて、1月18日に開催された全国青少年交換シンポジウムの内、危機管理分科会についてアンケート結果と併せて報告されました。上記シンポジウムでも問題とされた、地区、クラブ、青少年活動関係者の危機管理認識の現状把握と情報提供の方法(研修等)についての討議をし、最後に、緊急時において実際に危機管理委員会の開催が可能であるかについて訓練しておくことの必要性について協議をし、今年度中に実行の予定。併せて緊急時における委員会開催の要件(定足数など)についても再検討することとし、帰国早々でお疲れ気味の丸尾ガバナーエレクトの挨拶をもって閉会しました。

ご入会おめでとうございます(敬称略・クラブ順)

篠山



中井 雅人
建築
2/4入会



大前 裕樹
建築
2/4入会



木谷 謙介
屑鉄処理
2/5入会



小谷 圭
内科医
1/5入会



多田 昌之
建設業
1/8入会



濱崎 誠二
弁護士
1/7入会

明石西



北野 学
建設請負業
1/8入会



渡會 英明
配線器具・付属品製造業
2/2入会



上山 奉伯
司法書士
2/2入会



森津 純
刑事弁護士
2/2入会



丸尾 将満
鉄骨建設
11/26入会



小山 恵生
電気工事
11/5入会

西脇

姫路南

姫路西

姫路西



永川 太郎
環境整備
9/24入会

3月地区活動予定

日	時	行 事 名	場 所
1日(日)		地区大会	神戸ポートピアホテル
7日(土)	15:00~	第1回地域問題小委員会	神戸センタープラザ西館5号室
	17:00~	第11回補助金小委員会	神戸センタープラザ西館5号室
8日(日)	9:30~	第12回青少年交換小委員会	神戸センタープラザ西館7号室
	10:00~	2014-15年度短期青少年交換派遣生オリエンテーション・壮行会	神戸センタープラザ西館7号室
	13:00~	青少年交流会	神戸市青少年会館
	15:00~	第6回米山奨学委員会	第一楼
	16:00~	2014学年度米山記念奨学生歓送会	第一楼
	19:00~	ポリオをなくそうチャリティコンサート	神戸市立東灘区民センターうはらホール
10日(火)	18:30~	第7回多様化小委員会	神戸ポートピアホテル724号室
14日(土)	15:00~	出前研修セミナー(阪神・尼崎地区)	ホテルニューアルカイク
15日(日)	10:30~	地区研修・協議会リーダー会議	神戸ポートピアホテル生田の間
	13:00~	2015年PETS	神戸ポートピアホテル偕楽の間
21日(土・祝)	15:00~	2015-16年度第1回地域問題小委員会	ガバナーエレクト事務所会議室
23日(月)	19:00~	第5回RYLA小委員会	神戸ポートピアホテル724号室
27日(金)	18:30~	RI第2680地区ロータリアン・ワインの夕べ	神戸外国倶楽部
28日(土)	14:00~	阪神第1G IM	伊丹シティホテル
29日(日)	10:00~	2015-16年度青少年交換長期派遣候補生第2回オリエンテーション	神戸勤労会館403号室



ベネファクター

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



石川 誠
(姫路西)



青木 靖夫
(伊丹有明)



有馬 純喜
(伊丹有明)



苦瓜 顕一
(神戸東灘)



浅井 亮至
(淡路三原)



持田 俊介
(神戸東灘)

ポール・ハリス・フェロー



松田 洋三
(神戸北)



藪田 亘康
(明石西)



東口 喜樹
(西脇)



長尾 洋司
(淡路三原)



藤橋 拓志
(姫路西)



関本慶次郎
(姫路西)

ポール・ハリス・フェロー

第5回 米山功労者

第4回 米山功労者

第1回 米山功労者



重岡 良則
(姫路西)



川本 慶子
(神戸東灘)



岸本 吉充
(明石西)



宮本 圭介
(淡路三原)

文庫通信(329号)

職業奉仕について

- ◎「アーサー・フレデリック・シェルドンの生涯とその学説の特質について-純粋理論の立場から」
(純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学) 小堀 憲助 2009 54p
- ◎「職業奉仕を考える」 田中 作次 2014 3p (D.2770月信)
- ◎「職業奉仕は日本が元祖 土屋元作」 塚原 房樹 2014 1p (D.2510月信)
- ◎「『職業奉仕』知る(to know)と成る(to be)」 塚原 房樹 2014 1p (D.2510月信)
- ◎「職業奉仕月間によせて」 池田 徳博 2014 1p (D.2800月信)
- ◎「てんびんの詩」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
- ◎「ロータリーの目的」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
- ◎「職業奉仕とは」 深川 純一 2014 20p 尾道・尾道東RC
[上記申込先:ロータリー文庫]
- ◎「超入門 職業奉仕の入口」 村井總一郎 2014 36p
[申込先:早川和男 FAX (052) 783-3818]

◆ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館:午前10時~午後5時 休館:土日祝日

訃報



故 荒井正敏 氏(神戸西神)
1月23日 享年84歳



故 畑 昌明 氏(宝塚武庫川)
1月29日 享年67歳



故 稲本幸雄 氏(あわじ中央)
2月17日 享年69歳

国際ロータリー第2680地区 2015年1月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数					クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数				
				2014年 7月1日	当月末	増減	女性					2014年 7月1日	当月末	増減	女性	
尼 崎 6	尼 崎	3	80.00	32	35	3	1	東 播 第 一 4	明 石	4	77.56	54	54	0	0	
	尼 崎 北	4	95.73	40	41	1	0		明 石 西	4	96.79	43	42	-1	0	
	尼 崎 東	4	96.38	48	45	-3	0		明 石 北	4	93.31	45	45	0	0	
	尼 崎 西	3	100.00	34	36	2	2		明 石 南	4	97.87	24	24	0	0	
	尼 崎 南	4	94.65	38	37	-1	4		小 計		91.38	166	165	-1	0	
	尼 崎 中	4	78.84	26	26	0	1		東 播 第 二 5	高 砂	4	93.04	43	43	0	3
	小 計		90.93	218	220	2	8		加 古 川	4	86.03	73	77	4	0	
阪 神 第 一 5	伊 丹	4	87.75	40	42	2	0	加古川中央	4	85.09	52	54	2	0		
	川 西	4	95.78	31	32	1	4	高砂青松	3	86.07	47	47	0	2		
	伊丹有明	4	88.37	29	28	-1	0	加古川平成	4	89.02	12	13	1	1		
	川西猪名川	3	97.07	24	23	-1	4	小 計		87.85	227	234	7	6		
	伊丹昆陽池	4	93.93	21	19	-2	0	東 播 第 三 5	三 木	4	97.84	57	56	-1	0	
小 計		92.58	145	144	-1	8	小野加東	4	91.80	42	42	0	1			
阪 神 第 二 6	西 宮	4	99.50	50	51	1	0	北 条	4	97.90	37	38	1	2		
	芦 屋	4	86.97	48	49	1	0	西 脇	3	99.26	43	46	3	2		
	甲 子 園	4	91.25	42	40	-2	1	三木みどり	3	94.28	36	35	-1	0		
	西宮夙川	3	91.66	39	39	0	5	小 計		96.22	215	217	2	5		
	芦屋川	2	84.91	24	28	4	1	淡 路 5	洲 本	4	91.67	37	36	-1	1	
	西宮恵美寿	4	87.50	25	24	-1	5	南 淡 路	4	91.07	28	28	0	4		
小 計		90.30	228	231	3	12	淡路三原	4	93.75	21	21	0	0			
阪 神 第 三 8	宝 塚	3	93.65	21	21	0	1	津 名	3	93.47	37	37	0	0		
	三 田	4	88.00	26	22	-4	0	あわじ中央	4	100.00	20	19	-1	0		
	篠 山	4	100.00	44	44	0	0	小 計		93.99	143	141	-2	5		
	柏 原	4	84.93	50	49	-1	0	西 播 第 一 6	姫 路	4	94.84	90	90	0	0	
	宝塚武庫川	4	96.00	39	36	-3	0	姫 路 南	3	98.49	72	78	6	0		
	三 田 南	4	96.43	8	7	-1	0	姫 路 西	4	87.44	71	73	2	2		
	宝 塚 中	3	92.36	30	32	2	9	姫 路 東	3	100.00	74	74	0	1		
	HYOGOロータリー Eクラブ	3	100.00	23	24	1	5	神 崎	4	82.15	31	31	0	0		
小 計		93.92	241	235	-6	15	姫路中央	4	100.00	6	6	0	0			
神 戸 第 一 7	神 戸	4	89.88	153	152	-1	0	小 計		93.82	344	352	8	3		
	神 戸 東	4	84.59	108	106	-2	0	西 播 第 二 4	赤 穂	4	85.80	41	39	-2	0	
	神 戸 東 灘	3	88.88	29	33	4	3	相 生	4	100.00	40	40	0	2		
	神 戸 有 馬	3	92.59	12	12	0	0	龍 野	4	96.39	54	54	0	4		
	神 戸 南	3	82.63	75	78	3	0	上郡佐用	4	100.00	23	24	1	7		
	神 戸 六 甲	4	96.67	15	15	0	0	小 計		95.55	158	157	-1	13		
	神 戸 ベイ	4	89.00	23	22	-1	3	但 馬 5	豊 岡	4	91.59	33	35	2	1	
小 計		89.18	415	418	3	6	生 野	4	81.25	22	21	-1	0			
神 戸 第 二 7	神 戸 西	3	90.13	61	60	-1	5	香 住	4	92.05	21	19	-2	0		
	神 戸 須 磨	3	85.43	35	36	1	0	豊岡円山川	4	89.29	21	21	0	0		
	神 戸 北	4	86.82	27	25	-2	1	和 田 山	4	71.62	22	22	0	1		
	神 戸 垂 水	3	92.03	29	32	3	5	小 計		85.16	119	118	-1	2		
	神戸ハーバー	4	100.00	7	7	0	0	合 計	73RC	91.70	2,857	2,871	14	99		
	神戸西神	5	94.50	39	37	-2	1									
	神 戸 中	5	89.71	40	42	2	4									
小 計		91.23	238	239	1	16										

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2014年7月1日 クラブ会員数… 2,857人
 ◆2015年1月末 クラブ会員数… 2,871人

◆2015年1月末女性会員数…………… 99人
 ◆2015年1月平均出席率…………… 91.70%
 ◆増 減…………… 14人増